

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2026年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会競技注意事項に基づいて行う。

2 入場、受付、招集について

- (1) チーム受付及び第1招集は実施せず、以下の競技場所にて、第2招集（本大会では招集と呼称する。）を実施する。

ア トラック種目

競技開始15分前各スタート位置付近（50mについては100mスタート位置付近）

イ フィールド種目

競技開始20分前 場所 各ピット

- (2) 招集時間に遅れた者は棄権とみなし、出場を認めない。ただし、審判長が認めた者については、その限りではない。

3 ウォーミングアップ

- (1) ウォーミングアップは、競技開始20分前まで準備支障ない範囲でトラックを使用出来る。

- (2) 競技中は、400mの競技間及び1500mのスタート時を除き、バックストレート5～8レーンを使用出来る。

4 アスリートビブス及び腰ゼッケンについて

登録ビブスを胸背部両面につける。跳躍競技は、胸背のどちらかでよい。

腰ゼッケンについては使用しない。

5 競技について

- (1) 競技用シューズは、WA規則第143条(TR5：シューズ)を適用する。

- (2) スパイクのピンの長さは、走幅跳は9mm以下、走高跳は12mm以下のオールウエザード用ものを使用すること。トラック競技はアンツーカー用のピンの使用を推奨する。

(3) トラック競技

ア スタート前のスターティングブロック合わせにともなうスタート練習は1回認める。

イ 小学生は、スターティングブロックを使用しなくてもよいが、クラウチングスタートとする。

ウ スタートの合図は、英語とし、小学生の不正スタートは、友の会ルールを採用し、同じ競技者が2回の不正スタートをした時、その競技者を失格とする。

エ 小学生1000mは、男子（4年、5年、6年）、女子（4年、5年、6年）の2レースとする。

- (4) リレーのオーダー用紙は、招集完了時刻の60分前までに提出する。用紙は、本部に用意する。

- (5) 走幅跳は、1ピットで行う。小学生の試技数は3回、有効試技は全て計測する。

中学高校一般は予選決勝を行う。

- (6) 走高跳は、バーの上げ方及び練習は、以下の通りとする。

1m20cmから5cmずつ上げる。※練習は1m15cm, 1m35cm, 1m60

c mとするが、選手の申し出により、練習の高さを上げることが出来る。

選手が1名になった場合、選手の申し出により3 c m上げる。

- (7) 競技中の選手に対する助言は、コーチングゾーン(カラーコーンで設ける)から行う。
- (8) 選手及び関係者を含めスマートフォン、ビデオ等の情報通信機器類を競技場所に持ち込むことはできない。ただし、本部で許可を受け黄色腕章を受領着用して撮影することが出来る。
- (9) 競技中の怪我等については応急処置を行うが、その後は各人で対処すること。以後の責任は一切負わない。

6 表彰について

各部1位から3位に賞状を授与する。賞状は本部にて受領してください。

7 大会結果速報について

本部席の裏にQRコードを掲示するとともに結果を貼り出します。

8 その他

- (1) マナーなどについて、主催者の注意に従わない場合は選手・観覧者問わず退場させる場合があります。
- (2) 荷物・貴重品の管理は十分に注意すること。盗難・紛失等について、一切責任を負わない。
- (3) ゴミについては各自で責任を持って持ち帰ること。
- (4) 撮影は、観客席からのみの許可をしますが、競技者の人権保護観点から写真・ビデオ撮影について以下の点にご協力ください。
 - ア 保護者および本人の了解がない撮影を禁止
 - イ 走高跳、走幅跳の助走後方・着地前方の撮影を禁止
 - ウ 走高跳マットに向かった正面(クリアランス動作中)の撮影を禁止
 - エ 選手が、試技を待っている間や身体を動かしているなどの競技以外の場面の撮影を禁止
 - オ 上記の内容及びその他、選手や関係者などの他者を傷つけたり、迷惑をかけたたりする行為と主催者が判断した場合は、速やかに警察および関係機関に連絡をとります。
- (5) 競技会参加者は、東三河陸上競技協会、蒲郡陸上競技協会のホームページに、スタートリストやリザルトに氏名・所属・学年・記録等が掲載されます。同意できない者は競技会への参加はできません。また競技会の諸情報について削除等の依頼は受け付けません。
- (6) 荒天で大会を中止する場合は、当日7時までに決定し、蒲郡陸上競技協会ホームページ(<https://gamariku.cloudfree.jp/>)の「お知らせ」欄にて連絡します。